

すし鮮
三原学園通り店
栗原 宗徳



私は、あまり旅行などには興味がなく、特にU.S.J.のようなテーマパークには関心が無かったです。計画段階から乗り気ではなく、半ば周りの人に無理やり放り込まれたといった状態でした。
一緒に行ったのは大阪在住の友人です。本人の要望で顔出しNGなので写真は自分だけになってしまいました。なんだかんだで出かけて行きましたが、予想以上に楽しかったです。アトラクションも多かったですし、ハウスのイベントもあり盛り上がりつつありました。ハリポッターなんか、原作も映画も見たことないですが、なんとなく雰囲気楽しめました。さすが世界のテーマパークだと感じています。自分の中の苦手意識を払拭してもらえた様に思えます。友人とは夜中まで食事して解散。(仕事があるのに大丈夫だったのか...) 次の日は、新幹線の時間までに、もう一つのお目当て、吉本新喜劇を見て「なんばグランド花月」まで行ってきました。まだ時間もあつたので自由軒のカレーと肉飯といと串カツも食べてみました。「言いけどフツ」が感想です。
乗り気では無かった旅行ですが、いざ行ってみると、思っていた以上に楽しかったです。こんな機会をいただいたので、三原社長を始め、西原店長の皆さんに感謝します。また、今度は個人的に計画立てて、どこか行ってみようと思います。

「わたしのVIVID」

カルビ屋大福 呉店
濱田 誠

私はカルビ屋大福呉店がオープンした年の6月、アルバイトとして2ヶ月間の研修を受けた後、社員となりました。当時は毎日が忙しく、叱られる事もありませんでしたが、その分やりがいもありました。店長は今の小林部長、副店長は森清次郎、二人からの厳しい指導があったからこそ今の自分があると感じています。大福は全国に35店舗あるから料理を作るだけですが、小林部長の指導の元、色々な料理の提案をさせて頂きました。正直、決められた事だけする方が楽ですが、お客様が喜んで頂くことがありたいと、お客様が美味しく食べている表情が私をやる気にさせてくれました。これは今でも働いてきた中で経験した事のない喜びでした。その後も色々な店に行き、出来る事は取り入れ、お客様に喜んで食事をして頂く事がやりがいと楽しさになりました。もちろん叱られる事や凹む事もありますが、周りに居たスタッフや上司からのアドバイスに助けられました。
今後の目標は、今の商品力に満足せず、常に美味しい物を提供し、大福にして東京に行き、当時流行っていたマインズ20度の鉄板の上でジェラートを作っていたゴールドストーンに行かしてもらいました。どうにかして大福で出来ないかと考えて、石焼ビビンバの器を冷凍庫で冷やして提供する商品販売して大ヒットしました。しかも、その商品をF.O本部にも認めてもらい全国の店舗で石ごねアイスとして売出す事となり、その時の喜びは今でも忘れずに出しています。その商品が美味しそな事が出来ません。お客様が美味しく食べている表情が私をやる気にさせてくれました。これは今でも働いてきた中で経験した事のない喜びでした。その後も色々な店に行き、出来る事は取り入れ、お客様に喜んで食事をして頂く事がやりがいと楽しさになりました。もちろん叱られる事や凹む事もありますが、周りに居たスタッフや上司からのアドバイスに助けられました。
今後の目標は、今の商品力に満足せず、常に美味しい物を提供し、大福に

ワフォー オープンセミナー

●10月3日(土)
「ワフォー」オープンセミナーと
デモンストレーション
集い

勉強会担当 清水企画室長
参加者
宮本 利枝さん(すし鮮原園通り店)
栗原 照美さん(すし鮮三原店)
川本 恵子さん(すし鮮本原店)
角川 里江さん(すし鮮緑井本店)

「店舗にお花を飾る研修」と題して、10年デモンストレーション研修を担当させていただいています。今回も、今回のようにデモンストレーション担当のパートナーの方と会社やお店を離れて、このような機会を持つのは初めてのことなかなかな全店のメンバーが参加ということ是不可能でしたが、貴重な時間でした。
「植物の根源の講演」では専門的なお話し(デモンストレーション)では専門的なお話しとわかっていく五感に響くものを感じることが出来る。何事にも通じる。本物を目の前で見る。食事は、料理や接客で実感を伴った表現をするように、デモンストレーションにおいて、意匠を伝えるようなものにしていく。これは、意匠を一致しました。なかなか研修では出ない関連な意見も出て、職場を離れて、こういう機会を持つ事の大切さも実感しました。(清水)

鮮コーポレーションの経営理念で一番基本になっている言葉は「VIVID.活き活き」です。「わたしのVIVID」というテーマのメッセージをリレー形式で掲載します。今回は濱田さんの登場です。



川崎 景介先生講演
岡田 恵子先生
デモンストレーション

来て頂いたお客様を幸せにすることで、その為にも私自身の技術、能力共に力をつける必要があります。売上もオープンして2〜3年目は大福35店舗中1位になる月もありましたが、現在では7位と低迷を続けています。今年10月27日にはリニューアルオープンします。もう一度昔に味わった2千万を超える売上と全国大福で1位を取る為に自分達が成長する必要があります。最後に、鮮コーポレーションは私の人生観を変えてくれた会社です。幹部の方、上司、今まで出会ってきたスタッフが居たからこそ成長出来たと感謝し、これから先も目標を追い続ける自分でありたいと思っています。

マミ川崎(崎長の)デザインする人が素敵でなければ良いデザインは生まれません。という言葉に、私も心豊かに素敵でありたいと思えました。デモンストレーションを見て「なんでも軽やかにスピーディに簡単にそうにできるんだらう。」と感動しました。枯葉までも生花と一緒に飾られていることに自然の物の良さを実感しました。(栗原)
道端に咲いているような草花やハーブを使い、香りのする花束、そして季節の花や木の枝を豪快に使った生花など、目を見張るような衝撃を受けました。講師の先生は、花とふれあい楽しみながフラワーデザインに取り組んでおられ、私も勉強になりました。(川本)

voice お客様の声

社長へのハガキ アンケートから
9月末から
10月到着分

●カルビ屋大福 呉店
土曜日にお客様も多かったけど、みなさん丁寧な接客でした。子ども用の椅子や食器、お客様メニューも充実して1才の子を連れて行きましたが、とても助かりました。焼肉、冷麺は、とても美味しかったです。お子様プレートは、できれば枝豆やコーンのような野菜を少し付けてもらえれば単品で別に頼まなくていいなと思いました。是非お願いします。呉市内から(来店) (30代女性)

●すし鮮 緑井本店
いつもお客様が多いのに気持ちよく接客してくださいます。只今、妊娠中なので、とても嬉しく感謝しました。広島市安佐北区から(来店) (30代女性)

●カルビ屋大福 西条店
西条まで遊びに来ていて初めて利用しました。渡邊さんという方が最初は感じが少し弱かったのですが、尋ねたりすると笑顔で答えてくれて、すごく感じ良かったです。また、これから来た時は寄りたかったです。店長、副店長、従業員、接客すく良かったです。(30代男性) 江田島市内から(来店) (30代女性)

●すし鮮 廿日市店
1歳11ヶ月になった娘のすし展デビュー!! ホツクス席で店員さんの笑顔で迎えられて嬉しそう大好きなあさり汁を手で身と殻を取り分け、納豆巻き、玉子、海老、ポテトフライで大満足。おいしい、おいしいを連発して今度から外食は子供連れで、すし展OKを確認しました。ありがとうございました!! (30代女性) 呉市内から(来店) (30代女性)

●すし鮮 呉店
今時珍しく、大層くん!とても親切で、又、会いたいです。(60代女性) 安芸郡内から(来店) (30代女性)

●すし鮮 西条店
店員さんが、すごく元気があり、初めて行ったのですが、気分良く時間を過ごすことができました。これからも、誰にでも親切で笑顔の接客をお願いします。またのご来店をお待ちしております。(来店) 大倉

●すし鮮 西条店
いつもですが、呉店に行っていますが、改装してあるのに、驚きました。そして、車イスの方も十分入れるスペースになっているのにビックリ!! 私、母も94歳で車イスに乗って、一度も連れて行くことができなかったのですが、いつも残念に思っていました。母に喜んでもらえて、それだけ嬉しく、「おすし」が身にもなっていて暖かく幸せな気持ちになりました。感謝しています。(60代女性) 安芸郡内から(来店) (30代女性)

●すし鮮 西条店
いつもですが、呉店に行っていますが、改装してあるのに、驚きました。そして、車イスの方も十分入れるスペースになっているのにビックリ!! 私、母も94歳で車イスに乗って、一度も連れて行くことができなかったのですが、いつも残念に思っていました。母に喜んでもらえて、それだけ嬉しく、「おすし」が身にもなっていて暖かく幸せな気持ちになりました。感謝しています。(60代女性) 安芸郡内から(来店) (30代女性)

●編集後記
我が社の長期の研修シーズンは秋がメインとなりますが、10月も様々な充実した研修が行われました。皆さんのレポートにもありましたが、行く前は躊躇したり不安があるものの、いざ行ってみるとそれを払拭する以上の体験をされたことが記されていました。何事も飛び込んでみると違った世界が開けていることを実感されたのではないのでしょうか! 自らが感動することでお客様にも感動を与えられる人になりたいですね。



神々の花園
南アフリカ共和国
ナマクアランドに
1年に1度花が咲く

10月の「図書コーナー」の感想より

●外国には日本と違う植物や生き物がいることを知りました。【11才女の子 西風新都店(来店)】
●見えて飽きないような花園で、行ってみたいなと思いました。【10才女の子 三原店(来店)】
●たくさん花があつてきれいな。【8才男の子 三原店(来店)】

《記事担当》 赤堀